科目名			担当教員	
知覚・認知心理学			柴田　理瑛・朝岡　陸	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FH3560	2	1	RorSR (講義)	2年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

※2018 年度以降に入学した方が対象の科目ですが、2017 年度以前入学者で「認知心理学」（科目コード：FH3510・FH3530、4 単位）を単位修得していない方は、この科目を履修登録できます。単位修得済の方は履修登録できません。

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度の開講後は 2028 年度開講予定です。

科目の概要

■科目の内容

この科目では、生体が外界にある対象を知覚し、その対象が何かを判断したり解釈したりする過程や仕組みについて学びます。各テーマの代表的な研究だけでなく、応用的な研究についても解説していきますので、本講義を通して認知心理学についての総合的な理解を深めて欲しいと考えています。

■到達目標

1 ）人の感覚・知覚等の機序及び障害について理解し、説明できる。
2 ）人の認知・思考等の機序及び障害ついて理解し、説明できる。
3 ）認知の基本的な仕組みについて理解する。
4 ）代表的な実験結果について図表をもとに読み解くことができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人間理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】

箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋著　『認知心理学（New Liberal Arts Selection）』有斐閣、2010 年

（最近の教科書変更時期）2018 年 4 月

（スクーリング時の教科書）スクーリングにあたって、上記教科書は使用しません。資料を配付します。

【参考図書】

スーザン・ノーレン・ホークセマ、バーバラ・フレデリックソン、ジェフ・ロフタス、クリステル・ルッツ編、内田一成監訳『ヒルガードの心理学（第 16 版）』金剛出版、2015 年

道又爾・北崎充晃・大久保街亜・今井久登・山川恵子・黒沢学著『認知心理学―知のアーキテクチャを探る新版』有斐閣、2011 年

乾敏郎・吉川左紀子・川口潤編『よくわかる認知科学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』ミネルヴァ書房、2010 年

スクーリング

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	視知覚と認知	視覚系の基本構造に触れながら、視覚の基本属性とその知覚と認知について学ぶ。
2	恒常性と順応	環境の変化によらずに知覚を一定に保つための働きについて学ぶ。
3	パターン認知	図の識別に関する仕組みと働きを学ぶ。
4	注意	情報の選択に関する仕組みと働きを学ぶ。
5	視覚的注意	視覚的探索に関する注意の仕組みと働きを学ぶ。
6	感情と認知	感情と認知に関する代表的な理論を学ぶ。
7	社会的認知	社会的認知に関する代表的な理論を学ぶ。
8	まとめと質疑応答	これまでの内容の総括と質疑応答を行う。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。

■スクーリング　評価基準

スクーリングで学んだ内容を踏まえたうえで、試験テーマに沿って自分自身の見解をどれだけ論述できるかについて問う予定です（教科書・配付資料・自筆資料のみ持込可）

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の 1・2・4・12・13・16 章は読んできてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

教科書の 1・2・4・12・13・16 章を復習してください。また、レポート学習に取り組んでください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	1 章：認知心理学の歴史とテーマ	認知心理学の歴史とテーマについて概観する。	認知心理学と他領域の研究視点の違いを理解し、特色を説明できるようにしましょう。

2	2章：視覚認知	視知覚とその認知について学ぶ。	視覚系の基本的な構造や仕組みを理解し、特色を説明できるようにしましょう。
3	4章：注意	情報を選択する働き（注意）について学ぶ。	注意の基本的な働きや、神経基盤について理解し、特色を説明できるようにしましょう。
4	5章:ワーキングメモリ	情報の格納と操作に関するワーキングメモリについて学ぶ。	記憶の構造や代表的な記憶モデルを理解し、特色を説明できるようにしましょう。
5	6章：長期記憶	長期記憶について学ぶ。	長期記憶の構造や仕組みを理解し、特色を説明できるようにしましょう。
6	7章：日常認知	日常認知について学ぶ。	日常認知について、自伝的記憶などの主なトピックを理解し、特色を説明できるようにしましょう。
7	8章:カテゴリー化	カテゴリー化について学ぶ。	カテゴリー化の働きと代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
8	9章:知識の表象と構造	知識の心の中の表現（表象）とその構造について学ぶ。	知識の表象と構造について代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
9	11章：問題解決と推論	問題解決と推論について学ぶ。	知性と思考の多様性について、代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
10	12章：判断と意思決定	判断と意思決定について学ぶ。	選択や判断の歪みについて、代表的な理論を理解し特色を説明できるようにしましょう。
11	13章：認知と感情	認知と感情について学ぶ。	喜怒哀楽はどのように認知されるのかについて、代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
12	14章：認知進化と脳	認知進化と脳について学ぶ。	ヒトの認知はどのように形成されてきたかについて、代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
13	15章：認知発達	認知発達について学ぶ。	子どもが感じる世界や知る世界について、代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。
14	16章：社会的認知	社会的認知について学ぶ。	他者の理解や認知について、代表的な理論を理解し､特色を説明できるようにしましょう。
15	18章：メディア情報と社会認識	メディア情報と社会認識について学ぶ。	メディア効果論の展開について、代表的な理論を理解し、特色を説明できるようにしましょう。

■レポート課題

1単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2単位め	注意とカクテルパーティ効果について説明し、代表的な実験結果に触れながら初期選択説と後期選択説の違いを説明すること。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

この教科書には図表がたくさん使用されています。心理学では、図表を通して研究内容や実験結果を理解することが求められますので、図表にもきちんと目を通してください。

論述式レポート課題では一つの文章を長くしすぎないように注意してください。長いと思ったら、一度句点（。）で文章を切って下さい。それから、むやみに改行しないでください。改行のポイントは後述のとおりです。本文における全角文字は明朝体、半角の英数字は Century でお願いします。これらの基本的事項が守られていない場合には、内容が優れていたとしても再提出にします。

２単位めのレポートでは、特に教科書の４章がレポート課題に関係します。また、いくつかの専門用語について説明が求められています。たくさんの情報をある一定量にまとめて分かりやすく表現することは、心理学を学ぶ上で非常に重要なスキルです。そのため、２単位めのレポートを評価するときは、指定字数（1,000 字以上 2,000 字以内）で、課題にそった記述が、簡潔かつ適切になされているかについて評価します。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

まずは、第４章１節を読み、認知心理学で言う注意についてまとめてください。書き出しは、「認知心理学で言う注意とは～のことである」が良いでしょう。さらに、「今回のレポートでは注意のいくつかの機能のうち、情報の選択に関する機能について考察する」という文言を入れてください。次に、段落を変えて、第４章２節のカクテルパーティ効果の説明を始めてください。書き出しは「カクテルパーティ効果とは～のことである」という表現が良いと思います。カクテルパーティ効果の日常における具体例が挿入してあると尚良いです。次に、段落を変えて、チェリーの実験やブロードベントの実験についてまとめましょう。次に、段落を変えて、モレイの実験についてまとめましょう。最後に、段落を変えて、初期選択説と後期選択説についてまとめ、違いを考察しましょう。

本レポートにおける生成 AI の使用レベルは **B（限定的利用）** とします。具体的には、**レポート本文の推敲・校閲（文章の読みやすさの向上、誤字脱字の確認、文法チェックなど）を目的とした使用のみ許可します。**内容の構成、要点整理、引用文献の要約、考察の生成、図表作成等、レポート内容に直接関わる生成的支援は認めません。また、生成 AI を使用した場合は、**引用文献一覧の末尾に以下の一文を必ず明記してください。**

「このレポートを作成するにあたって、文章を校正するために生成 AI を利用した。」

科目修了試験

■評価基準

試験のテーマに沿って、教科書で学んだ内容から関連のあるキーワードを自分なりに選択し、論述できているかという観点から評価します。なお、科目修了試験に関しては、生成 AI の利用は認めません。